

外傷画像の computer-aided diagnosis システムの 研究患者の皆様へ

2021年3月22日

Acute Care Surgery 講座

現在、Acute Care Surgery 講座では、「外傷画像のコンピューター診断システムの研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（平成30年4月1日から外傷で来院された患者様）の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「外傷画像の computer-aided diagnosis システムの研究」

2. 研究の意義・目的

外傷患者に特化したコンピュータ診断システムを開発し外傷部位を自動検出することを目標とします。本システム開発は、医師が読影するよりも早く損傷部位・活動性出血を検出し、治療戦略決定を行うことで、患者様の予後を改善させることを目的としています。

3. 研究の方法

患者様の診療の際に撮影した画像、年齢、性別、診断名、重症度を用います。

4. 研究実施期間

- 1) 被験者登録期間 後ろ向き研究のため設定しない
- 2) 被験者観察期間 2008年4月1日～2024年3月31日
- 3) 研究実施期間：2018年倫理審査承認後～2024年3月31日

5. 協力施設

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

大阪府泉州救命救急センター

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

但馬救命救急センター救急集中治療科

千葉県救急医療センター

君津中央病院

成田赤十字病院

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた氏名、生年月日、住所などの個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名

などは一切公表しないこととします。データ等は教室のセキュリティのかかるパソコンで保管します。

7. 機関間での資料の授受について

他研究機関で得られた画像（CT，レントゲン，エコー）を共同研究機関である千葉大学附属病院に匿名化した画像データを送り、他院で得られたデータとともに解析する。

8. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 島根大学 Acute Care Surgery 講座（急性期・外傷外科）

本件のお問合せ先 : Acute Care Surgery 講座（急性期・外傷外科）

研究責任者 : 比良 英司

0853-20-2575 (医局)